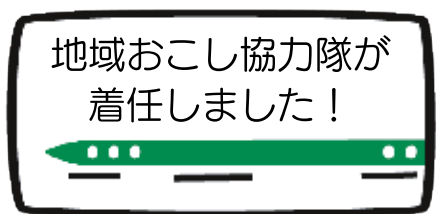




皆さま、初めまして！
この度、地域おこし協力隊鉄道文化継承員に着任しました深澤航海（ふかさわ かなみ）と申します。生まれも育ちも東京で、たまに山梨の別荘に行くくらいで郷里、親元を離れての一人暮らしは初めてです。



安平町で活動する地域おこし協力隊は現在6名。そのうち、5月1日付けで着任した鉄道文化継承員深澤さんの自己紹介を掲載します。

今回、この仕事のすべての始まりはフェイスブックでした！

幼少からの夢である蒸気機関車にかかわれる仕事を募集してる募集要項を見たときに一人の募集ということ、ダメもとの応募でした。

応募書類一つ出すのもバタバタでこれは失敗したかもなあ……、なんて考えながら過ごしていたら、まさかの採用通知がつ、2月のことでした。

そして、採用の条件として車の免許を取得すること。元々の東京人でしたから、車を運転できなくとも生活出来てました。

しかし行く先は北海道、まあ車の運転は出来ていなければということ、急いで教習所に通って、免許を取りました。

仮免許に試験のときは不安でいっぱい、そのときの気持ちをこんな風に表しています。

「鉄の道 外れて走る車道 見澄ます時ぞ 大時化の海」



意味が気になる方は私に会ったときにでも聞いてください。
そんなこんなでやって来ましたが、北海道……！ S1保存協力会の方々に、色々教えていただきながらD51・320をもっと皆さまに知って頂けるように、そして、彼ら蒸気機関車が遺した軌跡を永遠に語り続けるように、頑張ってる所存でありますので皆さまどうか、応援宜しくお願い申し上げます！

教育長退官式



豊島教育長 12 年間お疲れさまでした！

